

2007年5月22日

報道関係者各位

社団法人  
日本証券アナリスト協会

## プライベート・バンキング教育講座の検討について

当協会では、個人の証券市場参入に資する教育の一環として、また、証券アナリストの育成の役割を担う組織として、プライベート・バンキング/ウェルス・マネジメントの資産運用管理者向け教育講座の検討を開始します。まず第一歩として、以下の通り、金融実務界を中心とするワーキング・グループを編成し、実務界のニーズに応えるセミナーの開催を目指していきます。

こうした検討を開始する背景は次の通りです。

近年わが国における個人金融資産をめぐる環境は大きく変化してきており、多くの金融機関が、プライベート・バンキング/ウェルス・マネジメント部署を設ける等、積極的な取り組みを行いつつある。一方、個人投資家サイドでも幅広い総合的な運用に関するサービスへのニーズが強まっている。

しかし、各金融機関の対応、サービスの内容は多岐に亘っており、また、その業務に携わる者に対するあるべき教育の内容、レベルなどについても、各社それぞれに依然模索中である、というのが実情である。

こうした状況に鑑み、証券分析の教育・資格付与を主たる事業としている当協会としても、この分野に関して先進的な欧米にならい、ファイナンスの手法を取り入れた教育講座を本格的に検討する時機に來ていると考える。

当協会の検定会員（21千人の証券アナリスト）にとっても、この分野の知識、スキルは重要であり、その活躍の場の拡大につながると考えられる。

### 1. プライベート・バンキング検討ワーキング・グループの設置

- (1) 証券、銀行、信託銀行、生保、専門家・実務家の10名程度からなる検討ワーキング・グループを編成し、必要に応じて学者からも助言を求める。
- (2) 5月中にメンバーを固め、直ちに検討を開始する。事務局は証券アナリスト協会スタッフが務める。

### 2. プライベート・バンキング検討ワーキング・グループの役割

- (1) ウェルス・マネジャー教育講座策定を展望して、プライベート・バンキングビジネスに携わっている証券、銀行、生保あるいは専門家から助言、指導を得る

ことを目的とする。

- (2) 当面は、主要な証券、銀行等からウェルス・マネジャー教育に関する共通のニーズを引き出し、ひいてはその部門の担当者に積極的に参加してもらえるようなセミナーを実現させる。
- (3) 先行きは、セミナーの成果等を見た上で、より実務的、実践的な観点に立ってウェルス・マネジャーに関する資格制度の導入の適否を含めた教育プログラムの整備についても検討する。

### 3. 今後の展望

#### (1) 関連セミナーの開催

親密連携先であるスイス証券アナリスト協会の教育プログラム、CIWM<sup>®</sup> (注)を参考にして、まず早急にセミナーを開催することとし、そのための検討を優先する。第1回“ウェルス・マネジメント教育セミナー(仮題)”は本年11月~12月に実現したい。

#### (2) 本格的な教育プログラムの整備

このセミナーでの成果、問題点等を一定期間かけて見定めた上で、次のステップとして、資格制度導入の適否を含めて本格的な教育プログラムの整備について検討する。

(注) スイスにおいて2004年から開始された Certified International Wealth Manager(CIWM<sup>®</sup>) 資格試験制度。現在、欧州4カ国(ドイツ、フランス、イタリア、モナコ)が参加、他にも参加表明3カ国(英国、スペイン、ルクセンブルグ)、前向き検討国数カ国(欧州のみならずアジアのインド、香港)。

以上

#### 【本件に関する照会先】

(社)日本証券アナリスト協会 専務理事 萩原 清人  
事務局長 佐野 幹雄  
教育企画部長 山田 誠  
Tel: 03-3666-1565  
Fax: 03-3666-5843